

園長だより

第十一号一九年六月
竹鼻保育園
園長 川出昭順

先日、花祭りにご参加下さいましてありがとうございます。式典は良かったのですが、パレードは散々でした。私の中止判断が駄目でした。式典の終わりに仏教会の役員さんから、川出園長は晴れ男だと褒めちぎられて、いい気になっていたら、とんでもないことになってしまいました。

お忙しい中お休みを取っていただいたにもかかわらず、こんなことになってしまい、申し訳ございませんの一言です。

式典の中で、お釈迦様の誕生説話を少しお話しました。七歩あるか、唯我独尊、上天下唯我独尊、とおっしゃったといひます。現代ではこの言葉を悪い意味で使います。あいつは自分より人であることを考えない唯我独尊だ、と。全く間違っ



お釈迦様のご誕生をお祝いしました。すみれ2組です。

た使い方です。天上天下ですから全世界ということですね。唯我独尊とは他の人と比較するものではありません。今生きている私の命がもっとも尊いという意味です。夢が叶ったり、希望通りにすすんだりすると素晴らしい人生だと喜ぶことができます。ところが、その反対の場合はどうでしょう。何と情けない、俺ばかり悪いことばかり起こるのか。自分の都合でいい人生であったり悪い人生になってしまふ私達に、どんな人生であろうとも尊い人生をいただいているというのが仏教の基本的精神です。

七歩というの大きな意味があります。六歩は六道にたとえています。地獄・餓鬼・畜生・修羅・人・天をいいます。どこかで聞かれたかもしれません。竹鼻別院では人生講座という法座が年十回朝6時半から開かれています。今月の先生のお話に出てきました。

地獄は聞く耳を持たない状態をいう。地獄というのは言葉を失っている。言葉を聞かない、そして、言っても分からない。耳を失った世界。地獄というのは地下です。真っ暗なところは自分の両手両足が触ったところしか信じられませんが、そこに溝があるから注意せよ、と言っても方向転換しません。そこまで行って、溝があるか足で確認して方向を決める。そこは川だから、そこは溝だから、そこは暑いヤカンが置いてあるから、右へ行け、左へ行けといくら言われても信じません。そこまで行って確認しないと方向転換できない。何も聞かない、自分で触ったことだけが真実だと思っていいますから。獄という言葉は牙の中に言葉が入っている。自分の思いをいくら伝えようとしても理解してもらえない。聞く耳を持たない。言葉を失った状態、人間そのものが否定された状態。(中

略)人それぞれに深い悩みがある。自暴自棄にしかなるほかない、そういう世界を出よ。そこから解放されよというのが出世間。仏教という意味である。そこを出よ。

餓鬼 これです十分と言うことはない。まんだ、まんだで欲に目がくらみ、自分を見失う。仏教の罪は自分を見失う。だから、自分を見失うな。どこまでもそんなところにお居るな。そこに居ることに気づけ。気づいたら何とかなる。気づいたらそこから離れることができる。無くならんがそのことよって振り回されない。目覚めよ。畜生 怒り。女性は三界に家なし。女性ばかりでない。生まれては親に従い、次には夫に従い、その後は息子に従へ。しかし、実際は男の方がびくびくしている。どうにもなりませんから、じーつと堪えている。チツクシヨウ、怒り怒りや。言うに言えん、押さえつけられてものが言えん。そんな世界から出よ。

(人生講座6月三島多聞師)

NHKテレビで”ニッポンの家庭が非常事態”というのをやっていました。紹介するとこんなんです。些細なことでキレる妻、

*うるさいなく！いいじゃん、帰ってきてご飯がちゃんと用意されているから あくもう本当に(イライラ)

*妻「ヨーグルトがいつぱいあるじゃん、何で買ってくの」夫小さい声で「だって砂糖が入っていないもん」妻キレて「入れればいいじゃん、砂糖自分で」

妻のイライラに気づかない夫、日本の家族の中で夫に対する妻の怒りが高まっています。

*朝は顔を合わせない *朝ぐらいい爽やかにいたい

*一人で住んでいた方が楽

現在日本では年間二十一万組以上が離婚 調停の申し立

て7割が妻からのものです。最大の理由は、夫が自分の気持ちを理解しないこと。一度は愛し合った二人なのに、何故妻は夫に切れるのか。

こんな感じで番組が始まりました。皆さんは心当たりありますか。熟年夫婦(老年夫婦)ですからこんなものだと諦めることができるなら、楽なのですが、私自身もなかなかそうはいきません。しかし、キレて生まれてくるのはコンチクショウでしょう。最近男の方が弱者気味です。夫は小さくなっています。腹の中はコンチクショウでしょうね。お互いに言葉が通じない、相手が信じられないというのでしょうか。

人生講座の先生はこういう世界を出なさいと。夫婦共にコンチクショウと罵っている、エスカレートすると未来は離婚しかないのです。原因は夫にあると考えます。でも本当にそうなんですか。確かに問題の多い旦那かもしれません。私自身はどうなんですか。もし私にも少し原因があると気づくならば、光が見えてきます。相手のみを攻撃する、自分の考えが一番だ間違いないと考えているところに問題の根があると教えられます。全く聞く耳を失っているのです。その私が聞く耳を持つことが出来るようになったとき、関係が改善されます。先生の「ここを出ろ」「自覚する」と言う言葉で自分は絶対に間違っていないという自分中心の世界から出る！自覚せよ！おっしゃったんですね。ここが解決のきっかけなんですよ。こんな気づきがあると、久しぶりに旦那の言葉が聞こえてくるかもしれません。